市立四日市病院整形外科専門研修プログラム

1) 概要

この研修プログラムでは、名古屋大学整形外科と連携しながら、三重県の地域医療に貢献できるプライマリ・ケアから療養・介護を含む老人医療を担える、幅広い視野をもった整形外科医を育てることを目標とします。また、名古屋大学整形外科と連携し、専門的な研修も出来るように配慮されています。

2) 専門研修はどのようにおこなわれるのか

整形外科の研修で経験すべき疾患・病態は、骨、軟骨、筋、靭帯、神経などの運動器官を形成するすべての組織の疾病・外傷・加齢変性です。また新生児、小児、学童から成人、高齢者まで全ての年齢層が対象となり、その内容は多様です。この多様な疾患に対する専門技能を研修するために、整形外科専門研修は1ヶ月の研修を1単位とする単位制をとり、全カリキュラムを脊椎、上肢・手、下肢、外傷、リウマチ、リハビリテーション、スポーツ、地域医療、小児、腫瘍の10の研修領域に分割し、専攻医が基幹病院および連携病院をローテーションすることで、それぞれの領域で定められた修得単位数以上を修得します。

3) 専攻医の受け入れ数について

本年度の募集専攻医数は5名です。

4) 専攻医の到達目標

○修得すべき知識・技能・態度など

専攻医は、整形外科研修カリキュラムに沿って研修し、整形外科専門医として、あらゆる運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を涵養します。さらに、進歩する医学の新しい知識を修得できるように、幅広く基本的、専門的知識を修得します。

○各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得

各研修施設の研修委員会の計画の下、症例検討・抄読会はすべての施設で行います。専攻医の知識・技能習得のためのセミナーを専門研修プログラム管理委員会が企画・開催します。

○学問的姿勢

名古屋大学において開催される、名古屋大学整形外科合同カンファレンスに参加・発表することにより、各施設の専門性や大学の各診療班から多領域にわたる最新知識の講義を受けることができます。更に名古屋大学整形外科が主催する鶴舞整形外科症例検討会（年1回）、東海骨・関節疾患研究会（年1回）、東海整形外科外傷研究会（年2回）、鶴門外傷研

研究会（年2回）に参加または発表することで幅広い知識を身につけることができます。研究指導は各施設の指導医が行います。また、連携する大学病院での6ヶ月間の研修においては、希望により研究のプロジェクトに参加しリサーチマインドを養うことを目標とします。

○医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性

整形外科専門医としての臨床能力（コンピテンシー）には、専門的知識・技能だけでなく、医師としての基本的診療能力（コアコンピテンシー）が重要であることから、どの領域から研修を開始しても基本的診療能力（コアコンピテンシー）を身につけさせることを重視しながら指導し、さらに専攻医評価表を用いてフィードバックをすることによって基本的診療能力（コアコンピテンシー）を早期に獲得させます。市立四日市病院および各研修施設の医療倫理・医療安全講習会に参加し、その参加状況を年1回専門研修プログラム管理委員会に報告します。

5) 施設群による研修プログラムと地域医療についての考え方

○年次毎の研修計画

専攻医の希望・地域枠や県の奨学生を考慮し、各单位・小児整形・腫瘍・地域医療研修などのローテーション表と専攻医毎の年次別単位取得計画を作成します。

○研修施設群と研修プログラム

本プログラムを構成する44の研修連携病院は、多くの研修単位を取得可能な大型研修病院、多くの症例が経験可能な地域中核病院、地域に根ざした医療研修が経験できる地域研修病院があります。

No.		施設名称	都道府県
0	基幹施設	市立四日市病院	三重県
1	連携施設	岡崎市民病院	愛知県
2	連携施設	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院	愛知県
3	連携施設	西尾市民病院	愛知県
4	連携施設	社会医療法人志聖会 総合犬山中央病院	愛知県
5	連携施設	名古屋大学医学部附属病院	愛知県

6	連携施設	稲沢市民病院	愛知県
7	連携施設	国立長寿医療研究センター	愛知県
8	連携施設	豊田厚生病院	愛知県
9	連携施設	中日病院	愛知県
10	連携施設	トヨタ記念病院	愛知県
11	連携施設	青木記念病院	三重県
12	連携施設	名古屋セントラル病院	愛知県
13	連携施設	蒲郡市民病院	愛知県
14	連携施設	日赤愛知医療センター名古屋第二病院	愛知県
15	連携施設	中部労災病院	愛知県
16	連携施設	刈谷豊田総合病院	愛知県
17	連携施設	一宮市立市民病院	愛知県
18	連携施設	愛知県がんセンター	愛知県
19	連携施設	愛知県厚生農業協同組合連合会 渥美病院	愛知県
20	連携施設	名古屋記念病院	愛知県
21	連携施設	名古屋掖済会病院	愛知県
22	連携施設	江南厚生病院	愛知県
23	連携施設	豊橋市民病院	愛知県
24	連携施設	公立西知多総合病院	愛知県
25	連携施設	協立総合病院	愛知県

26	連携施設	碧南市民病院	愛知県
27	連携施設	社会医療法人宏潤会 大同病院	愛知県
28	連携施設	津島市民病院	愛知県
29	連携施設	JCHO 中京病院	愛知県
30	連携施設	国家公務員共済組合連合会 東海病院	愛知県
31	連携施設	あいち小児保健医療総合センター	愛知県
32	連携施設	名城病院	愛知県
33	連携施設	愛知県医療療育総合センター中央病院	愛知県
34	連携施設	社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院	愛知県
35	連携施設	愛知県三河青い鳥医療療育センター	愛知県
36	連携施設	聖霊病院	愛知県
37	連携施設	重工記念病院	愛知県
38	連携施設	総合病院 南生協病院	愛知県
39	連携施設	半田市立半田病院	愛知県
40	連携施設	愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院	愛知県
41	連携施設	八千代病院	愛知県
42	連携施設	独立行政法人国立病院機構東名古屋病院	愛知県
43	連携施設	愛知県青い鳥医療療育センター	愛知県
44	連携施設	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	愛知県

○地域医療について

本プログラムの研修施設群は三重県、東海三県の名整会関連病院となります。したがって、すべての専攻医は連携する大学病院での研修以外は、上記の名整会関連地域病院に勤務します。

6) 専門研修の評価

研修プログラム管理委員会は、専攻医の研修期間の終了に際し、専門医研修に関する当該専攻医の評価を行い、管理者に対し当該専攻医の評価を報告します。

7) 修了判定

整形外科専門研修プログラム管理委員会の責任者である専門研修プログラム統括責任者が、整形外科専門研修プログラム管理委員会における評価に基づいて、専攻医の最終的な研修終了判定を行います。

8) 専門研修管理委員会

○専門研修プログラム管理委員会の業務

整形外科研修プログラム管理委員会は、研修プログラムの作成や研修プログラム相互間の調整、専攻医の管理及び専攻医の採用・中断・修了の際の評価等専門医研修の実施の統括管理を行います。

○専攻医の就業環境

市立四日市病院や各研修連携施設の病院規定によりますが、労働環境、労働安全、勤務条件等へ以下に示す配慮をします。

- ・研修施設の責任者は専攻医のために適切な労働環境の整備に努めます。
- ・研修施設の責任者は専攻医の心身の健康維持に配慮します。
- ・過剰な時間外勤務を命じないようにします。
- ・施設の給与体系を明示します。

○専門研修プログラムの改善

プログラム統括責任者は、総括的評価を行い、修了判定を行います。また、定期的に関き取り調査を行い、研修プログラムの改善を行います。

○専攻医の採用と修了

プログラム統括責任者が、専門研修プログラムの管理・遂行や専攻医の採用・修了判定につき最終責任を負います。また、副統括責任者がその業務をサポートします。

○研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件

研修プログラム管理委員会は、専攻医が研修を継続することが困難であると認める場合には、当該専攻医がそれまでに受けた専門医研修に係る当該専攻医の評価を行い、管理者に対し、当該専攻医の専門医研修を中断することを勧告することができます。

○研修に対するサイトビジット（訪問調査）

本プログラムに対して日本専門医機構からサイトビジット（現地調査）が行なわれます。その評価にもとづいて専門研修プログラム管理委員会で本研修プログラムの改良を行ないます。本研修プログラム更新の際には、サイトビジットによる評価の結果と改良の方策について日本専門医機構に報告します。

9) 専門研修指導医

市立四日市病院 整形外科 部長 奥井伸幸
今釜史郎 名古屋大学整形外科 教授
西田佳弘 名古屋大学リハビリテーション科 教授
建部将広 名古屋大学手の外科 准教授
三島健一 名古屋大学整形外科 准教授
竹上靖彦 名古屋大学整形外科 講師

10) Subspecialty 領域との連続性

整形外科専門医のサブスペシャリティ領域として、日本脊椎脊髄病学会専門医、日本リウマチ医学会専門医、日本手外科学会専門医があります。本プログラムは名古屋大学整形外科専門研修プログラムとも連携しているために、これらサブスペシャリティ領域の研修施設、スポーツ医学や人工関節手術に多くの実績のある施設も含まれています。整形外科専門研修期間からこれらのサブスペシャリティ領域の研修を行うことができ、専攻医のサブスペシャリティ領域の専門研修や学術活動を支援します。